浄化槽

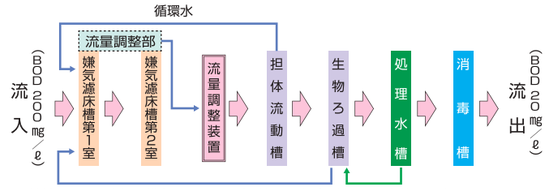
合併浄化槽ならどの地域でも
放流できます。

合併浄化槽

●半地下式(合併浄化槽十三次処理槽)

人槽算出基準		
事務所	n=0.075A	厨房設備有　n: 人員(人)　A: 延べ床面積(㎡)
	n=0.06A	厨房設備無　n: 人員(人)　A: 延べ床面積(㎡)
宿舎	n=P	n: 人員(人)　p: 定員(人)

■フローシート

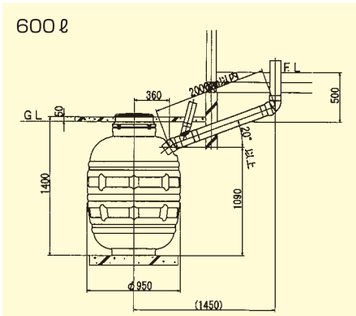


※地域により三次処理槽(10ppm 以下)が必要な場合が有ます。事前にご確認下さい。

●浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている「保守点検業者」と契約して下さい。(保守点検は、浄化槽管理士の資格をもった人が行わなければなりません)…(有料)
●浄化槽の泥沼引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼して下さい。…(有料)

簡易水洗

●施工図



■ 便槽容量の算定について

●通常大人の平均排泄量

大便	130g／回・日、(1日1回)	
小便	1,200cc／日(200cc×6回)	
計	1,330cc／日	

●洗浄水量

大便時	500cc／回(補量込)
小便時	1,200cc／日(200cc×6回)
計	1,700cc

平均排泄量＋洗浄水量　1,300cc＋1,700cc＝3,030cc／日・人
1人1ヶ月当たりの量　3,030cc×31日＝93,930≒94ℓ

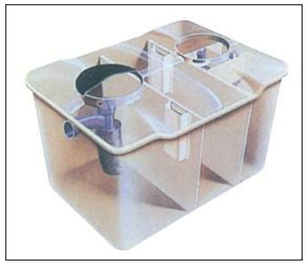
※洗浄便座をご使用の場合は、11人1ヶ月15ℓ～20ℓ余分に使用水を加算して下さい。

便槽容量	
事務所	スタッフ数×4ℓ×稼働日数
宿舎	人数×3.5ℓ×30日

※汲取費は地域差が5倍前後有ります。事前にご確認下さい。

雑排槽算出基準

●雑排水処理槽



下水道、合併浄化槽が無い場合、地域によっては、地方条例で配置が義務付けられている場合が有りますので事前にご確認下さい。

●下記の算定式を参考にして、多少の余裕を持った容量の機械をお選び下さい。

(算定式)

$$V=\frac{Q}{24}\times C\times K$$

V: 必要容量(リットル)
Q:1Hの平均汚水量(リットル／日)
※不明の場合は(表1)及び(表2)よりお求め下さい。
(例)厨房と風呂のない50㎡の事務所の場合、
Q=0.1人×50㎡×(40ℓ+10ℓ+10ℓ)=300ℓ
(表1)より　(表2)より

C: ピークを考慮した係数、一般にC=4
K: 有効容量／流入水量、一般にk=3

※週1回のメンテナンスが必要です。

〔表1〕建築用途別処理対象人員算定基準

	建築用途	処理対象人員	
		単位当たり算定人員	算定床面積
1	事務所	1㎡当たり0.1人	事務室の床面積
2	宿舎	1㎡当たり0.2人	個室の床面積。ただし、固定ベット等で定員が明確なものは、その定員とする。

〔表2〕生活雑排水の内容と水量

雑排水の内容		水量(ℓ／人・日)
厨	房	30
風	呂	60
洗	濯	40
洗	面	10
雑	用	10
合	計	150